

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

新入職員歓迎セレモニー開催



4月10日、新入職員歓迎セレモニーを開催しました。会場が温かい拍手で包まれる中、未だマスク越しではありますが笑顔で新入職員が入場。その後、伊泊院長からのあいさつ、先輩職員代表で医療事務の島當さんより歓迎のメッセージがありました。それに応じて新入職員より請舛看護師、研修医の宮本医師よりあいさつがありました。

新入職員の1人ひとりの希望に満ちた眼差しは頼もしくも感じられ、新たな仲間と共に清々しく新年度をスタートすることができました。

総務課 後當 直人

職 種	人 数
研修医	10
薬剤師	1
看護師	20
臨床検査技師	2
視能訓練士	1
言語聴覚士	1
理学療法士	1
管理栄養士	2
社会福祉士	1
医療事務	6
一般事務	2
合計	47



新入職員あいさつ

初期研修医
みやもと みずき
宮本 瑞己

本日より新入職員として皆様とともに働かせていただけることを大変光栄に思います。

4月1日からの1週間、新入職員オリエンテーションをうけ、そこで、沖縄医療生協の歴史やこれまでの医療活動について学び、大変素晴らしい取り組みを行なっていることを改めて認識することが出来ました。

これからその一員となるべく新入職員一同、日々研鑽を積んでいき、やる気と誠意をもって患者さんに寄り添い、地域の皆様の健康な暮らしを守っていきたくております。今はまだ右も左もわからず、何かとご迷惑をおかけすることと思いますが、一日も早く戦力となれますよう頑張っておりますので、温かいご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。



新入職員あいさつ

看護師
うけます ま お
請舛 真生

希望という若葉が芽吹くこのよき日に諸先輩方からの、温かい励ましのお言葉に、看護師として入職できる喜びに燃え、新たな決意をしております。

私たちは、晴れて入職できたことを心から光栄に思っております。コロナ禍の中での学生生活は、医療環境を含む、社会の複雑な環境変化の中で学んできました。その中で、あらためて私たちが目指す医療職の重要性和必要性を実感しております。本日より、医療の現場で沖縄協同病院の新入職員として、社会への一歩を踏み出しました。

これから始まる社会人としての日々に、医療生協職員として、医療生協理念のもと「健康をつくる・平和をつくる・いのち輝く社会をつくる」をモットーに、様々な経験を積み重ねながら患者さんとそのご家族に寄り添い、信頼される看護師を目指し、社会人として自立できるよう、より一層努力して参ります。

しかし、基礎的な勉強を積んだとはいえ、実践面では不安を感じております。諸先輩方の的確なご指導を受け、全力で業務に取り組み、困難に負けず努力することを胸に一生懸命頑張らせていただきます。一日でも早く、医療生協職員として、即戦力となれるよう努力して参ります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

病院の活動状況 <2023年3月度>

- ・外来一日平均患者数：302人（前年同月比 -7人）
- ・入院一日平均患者数：249人（前年同月比 +3人）
- ・組合員利用分量（率）：59.7%（前年同月比 +7.3%）

術前術後訪問に丁寧に取り組んでいます

195 麻酔科手術室より



当院手術室は2022年度は約1800件の手術を行いました。その中でも麻酔科は全身麻酔症例約1300件と、部分麻酔の中でも下半身麻酔（脊椎麻酔、硬膜外麻酔など）約1000件の麻酔管理を担当しています。

そして手術を受ける患者様がよりよい術期（手術を受ける前、手術を受けた後まで）を送ることができるよう、以前から行っている術前術後訪問を麻酔科医ならびに手術室看護師がより一層丁寧に行っていくように心がけています。今回はこの術前術後訪問の内容を説明します。

まず術前訪問は手術の一日前に病棟のベッドサイドにて行っています。最近ではコロナの影響もあってご家族様が病棟に上がれないため、外来にて（家族と一緒に）行うことも多くなっています。

術前訪問の目的は、今回行う麻酔法の説明を行いながら、少しでも患者様の手術に対する不安の軽減を図っていくことです。

具体的には、既往歴、手術歴、現在の内服薬、アレルギーの有無などを伺います。

そして手術前の検査結果などから、麻酔法を判断し、術後の疼痛管理なども説明します。

手術後の術後訪問は手術の翌日などに行って、術後の問題点（痛みなど）の有無や、手術室での印象などを伺いながら主治医と連携して必要なケアのサポートをします。

ここでこれまでに経験した症例を麻酔科医と患者様の会話から紹介します。

（麻）「これまでに、手術を受けたことがありませんか？その時に気になったことはなかったですか？」

（患）「あ、そういえば三年前に手術受けたんですけど、手術はうまくいったんですけど、手術を受けたその日の吐き気、嘔吐がひどかったんです。」

こういうやりとりから今回の手術の後にはそういう症状（今回は吐き気など）に気をつけました。術後ケアを行ったという事例がありました。

このようにして術期管理を行っていくことで、手術を受けられた組合員の皆様は「手術室の先生や看護師さんが事前に説明してくれてよかった」とか「手術が終わった後も病棟に訪問してもらっているの聞いてくれてよかった」と満足していただけるように頑張っていくつもりです。

麻酔科部長 久場 一章



集中治療室から コニチワ

「PICS 環境変化によるストレス」

沖縄協同病院
集中治療室
佐久田 豊

PICS(ピックス)とは、post intensive care syndromeの略で、集中治療後症候群と訳されるものです。2013年頃から集中治療の領域では盛んに取り挙げられ、退院後の状態をよくするために配慮すべき

項目とされています。退院後に、身体的・心理的問題が残らないよう入院直後より対策を考えるよう心掛けています。

入院すると環境の変化や病気の影響で「せん妄」という状態が起こりやすくなります。せん妄の有病率は、入院患者の10～30%(高齢者では10～40%)に起こるとも報告されています。身体疾患や外的要因により、脳が機能不全をきたし、集中力の低下を認め記憶があやふやになったり、うまくしゃべることができなったりします。また、錯覚や幻覚等、いないはずの人が見えたり誤った考えを本当と思ったりする状態が認められる場合に「せん妄がある」と考えます。

せん妄状態に陥ると、協力が得られず治療がうまくいかなくなるのが多くなります。せん妄を予防することは病気を治すためには欠かすことができないことなのです。入院が確定すると、身体的な問題以外に日常と異なる場所での睡眠による環境変化のストレスにもさらされます。その際に配慮すべき点としては、カレンダーを置き日付の確認をしていただく事やTVをはじめ好きな音楽・ラジオを聴いていただく事も効果があります。近年普及してきた御家族とのリモート面会なども大事だと考えています。一方、体を動かすこともせん妄状態を改善させるのに良い対応とされています。そのため、集中治療室では早期からリハビリテーションを開始しています。驚かれるかもしれませんが、病的に可能だと判断し本人の御理解が得られれば、人工呼吸器管理状態で歩いていただく事もあります。

病気で数日お休みすると体が動かしにくくなるといった経験はどなたもお持ちだと思います。筋肉を動かさないでいると、筋肉は委縮し動かしにくくなるからです。そのため、早期のリハビリ開始は、身体的・精神的な両側面の問題を解決するためにも必要なことだと言えます。工夫を凝らしPICSを防ぐよう努力しますので、入院した際には対策へのご協力お願いいたします。

産婦人科外来体制表

○2023年5月8日より外来体制が変更になります
○3月より予約制外来となりました

	月	火	水	木	金	土
医師外来	交代	宮里麻美子 第1・第3・第5	交代	宮里麻美子 第1・第3・第5	交代	
助産師外来	○	○	○	○	○	
医師外来	交代	交代	1ヶ月健診 妊婦検診	交代	妊婦検診	
助産師外来	○	○		○	産後 2週間健診	

【診療開始時間・受付終了時間】 午前：9:00～11:00 午後：2:00～3:00

◆体制は急に変更になることもあります、事前にお問い合わせ下さい。

◆産後2週間健診は、産後の方を対象に健診及び母乳ケアを行います。

お知らせ

- ①2023年3月より産婦人科外来の診察は予約制となりました。予約のない患者様は受付することができませんので、事前にお電話でご予約の上ご来院ください。
- ②水・金曜日の午後は妊婦検診(予約)のみで婦人科外来はありません。

問い合わせ先 病院代表 TEL098-853-1200

※問い合わせは月・水・金は午後13時00分以降、火・木は午前11時30分以降にお願いします。

部署紹介

⑬ 4階病棟北

4階病棟北は小児科と成人の混合病棟です。患者の年齢層は0歳から100歳超と一世紀(!)を超えることがあり、スタッフには幅広い対応力が必要です。

時には緊張感を伴う場面もありますが、子どもの何気ない一言にクスッと笑いが起きることがあります。個性強めのスタッフが多い病棟ですが、良い感じで調和しているのは子ども達のおかげかもしれません。

これからも皆で協力しあって、子供から大人まで安心して療養できる病棟づくりを目指していきます。

4階病棟北 師長 伊志嶺 牧子



委員会活動報告 12! 慢患運営委員会

慢性疾患とは、徐々に発症して治療も経過も長期に及ぶ疾患の総称で、糖尿病や高血圧、腎臓病、心臓病など多岐にわたります。慢性疾患は長期的で生涯治療が必要とされていますが、様々な理由により定期通院が途切れることがあります。

また、定期通院では行わない、がん検診や特定健診を受けられていない方も多くいます。慢患運営委員会では患者様に必要な治療や検査が行われるよう対策を検討している委員会です。患者様の健康推進に努めていきたいと考えています。

慢患(慢性疾患)運営委員会 事務局長 協同にじクリニック 赤嶺 勝



ハルサー だより

キュウリ

トマトのハウス栽培は一般的には10月に苗を定植して5月いっぱいまで終了し、7月から熱消毒に入る。しかし、病気が蔓延するなどして3月頃に終わることも多い。畑を遊ばせるのはもったいないので熱消毒までの期間、収穫の早いゴーヤーがキュウリを植える。

キュウリは苗を定植してから1カ月では収穫できるが、病気が多いのが難点だ。私が幼い頃のキュウリはとて太く、一部は種を採るために黄色くなるまで熟させていた。キュウリの名はこの黄色い瓜(黄瓜)から来ている。今のキュウリの規格品は棘の付いているうちに収穫したもので、棘が無くなって大きくなったものは規格外品で安くなる。トマトも大きくなるほど単価が安くなる。昔のハルサーは大きさを競ったが今はいかに大きくないかを競っている。

さて、最近レストランで食事を注文したら、ロボットが運んできた。とうとうここまで来たかと思ったが、翌日の新聞を見ると、対話型AI「チャットGPT」が話題になっていてという。ネット内の膨大な情報を学習して、自然な会話をしたり、小説を書いたり、プログラムミングもできるAIだという。「○○さんの住所と勤務先は？」と質問した場合、ネット内に情報があれば、即座に答えが返ってくるのだ。イタリアは膨大な個人情報違法に収集した疑いがあるとして「チャットGPT」を一時的に使用禁止にしている。現代はフェイスブックやインスタグラム等で自分の情報を無防備に発信する人が多いが、一旦投稿したものは見られた数だけコピーされているので完全には消せないという。

キュウリの若い実は表面が棘だらけになっている。これは虫や動物から身を守る自己防衛本能である。私達もIT社会を生き抜くには個人情報をむやみにSNSに投稿しないという自己防衛が必要である。

ハルサー
金城 稲子